

新研究所お披露目の懇親会を開催

9月23日(金)18:30より、東京・平河町海運クラブにて、「一般財団法人運輸総合研究所懇親会」を開催しました。

当日は、賛助会員の皆様方をはじめ、100名を超えるご出席をいただきました。

懇親会では、ご来賓を代表して、日本財団の笹川陽平会長、国土交通省の武藤浩事務次官よりご挨拶を賜りました。

当研究所は、6月16日付けで、これまでの運輸政策研究所と国際問題研究所を統合し「総合研究部」とする等の組織改革を行い、名称を「運輸政策研究機構」から「運輸総合研究所」

に改称するとともに、所長に山内弘隆教授(一橋大学大学院商学研究科)を迎え、新たなスタートを切りました。

今後とも引き続き、ご指導、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



当研究所 黒野会長による挨拶

講演会等の開催予定(開催日順)

◆セミナー「EUと韓国における高速鉄道駅周辺地域の都市開発」

日時……平成28年11月15日(火)18:00～

会場……海運クラブ国際会議場(千代田区平河町)

講師……カールスルーエ工科大学教授

Dr. Werner Rothengatter

韓国交通研究院副院長

Dr. Jaehak Oh

コメンテーター……政策研究大学院大学政策研究センター所長

森地 茂

◆航空セミナー「アメリカ航空産業の現状と今後の課題～新たな収入源としての付帯サービスの現状と今後の課題～」

日時……平成28年11月16日(水)18:30～

会場……航空会館7階大ホール(東京・新橋)

研究報告……当研究所ワシントン国際問題研究所次長

小林太郎

パネルディスカッション

モデレーター……当研究所所長

(一橋大学大学院商学研究科教授)

山内弘隆

パネリスト……A.T.カーニー(株)パートナー

吉川尚宏

(株)JTB総合研究所主任研究員

三ツ橋明子

当研究所ワシントン国際問題研究所次長

小林太郎

◆研究報告会 2016年秋(第40回)

日時……平成28年11月24日(木)13:00～

会場……海運クラブ国際会議場(千代田区平河町)

特別講演……仙台国際空港(株)代表取締役

岩井卓也

「東北のプライマリー・グローバル・ゲートウェイを

目指して～仙台国際空港の挑戦～」

研究報告……1. 当研究所総合研究部研究員

野城良祐

「B&Sみやぎの導入プロセス分析:なぜ高速バスと新幹線のシームレスな乗継ぎはうまくいったのか?」

2. 当研究所総合研究部研究員

ボン・ヴェン・キェン

「バラストランジット利用者の安全認識と愛着:

プノンペンにおける事例分析」

3. 当研究所総合研究部客員研究員,

桜美林大学特任教授

橋本安男

「欧米の動向とわが国の国内航空の将来方向性に
係る研究」

4. 当研究所総合研究部研究員

ティルトム・フセイン

「格安航空 (LCC) の都市間交通需要への影響に
関する研究」

5. 当研究所調査事業部研究員

室井寿明

「モバイル・ビッグデータの活用による新たな交通
統計の検討」

◆「日本人のクルーズ振興に関する国際セミナー」

日時……平成28年11月30日(水) 14:00～

会場……ホテルメトロポリタンエドモンド(東京・飯田橋)

基調報告……当研究所常務理事・ワシントン国際問題研究所所長

鷲頭 誠

講師……評論家

ダグラス・ワード

CLIA (クルーズライン国際協会) アジア事務局長

デビッド・ゴー

じゃらんリサーチセンター長

沢登次彦

(株)JTB総合研究所常務理事

高松正仁

◆「今後の東京圏を支える鉄道のあり方に関する調査」シンポジウム
～30年後を見据えた将来の地域の活性化と鉄道利用促進(仮称)～

日時……平成28年12月13日(火) 午後

会場……笹川記念会館国際会議場(東京・三田)

基調講演……政策研究大学院大学政策研究センター所長

森地 茂

「少子高齢社会における持続可能な都市鉄道のあり方」

特別講演……東京圏の鉄道事業者各社から講演予定

「各鉄道事業者の中長期事業戦略・プロジェクト」

航空と鉄道の社会経済的効率性の比較, 気候変動への影響を提示

都市間交通と気候変動

本書では、都市間交通では、自動車と航空のモードが高い割合を占め、気候変動との関連性が強いことから、その問題点の抽出と、モーダルシフトの促進による外部費用の削減可能性について分析を行うとともに、都市間交通政策に関する評価手法について考察します。

さらに、日本国内の都市間旅客交通市場における二大輸送手段である、航空および鉄道の社会経済的効率性の計測を試み、都市間交通システムのこれからの政策案を提示します。

姉妹書となる既刊『都市交通と環境』とともにご活用ください。

森地茂, 林良嗣, テー・ウム, ベルナー・ローテンガッター 編訳著

本体 5,000円+税(送料別) / A5判ハードカバー 340頁

※ 当機構WEBページの申込書にてご注文の場合は10%割引にてご提供いたします。

(送料・振込手数料等は別途ご負担ください)

※ 税込送料は、3冊まで520円、9冊まで760円です。

(10冊以上で一括梱包発送の場合は、送料サービス致します)

< 本書の構成 >

第1編 気候変動問題に対する都市間旅客交通の重要性

第2編 都市間交通政策とシステム: EU, 米国, 日本, 中国間の国際比較

第3編 都市間交通と気候変動～外部費用の内部化の観点から～

第4編 都市間交通政策の空間経済分析

第5編 日本国内の都市間旅行市場における航空会社と鉄道会社の社会的効率測定とその比較

第6編 都市間旅客交通への政策提言

